



むかい

学校教育目標

- ・かしこく
- ・やさしく
- ・たくましく
- ・なかよく

安心して学べる学校をめざして

校長

梅雨の訪れを感じる季節となりました。時折降る雨に、季節の移り変わりを感じます。新年度が始まって二か月。子どもたちは新しい学年や学級にも少しずつ慣れ、毎日元気に学校生活を送っています。朝、正門で交わす「おはようございます」のあいさつにも、子どもたちの安心感や成長が感じられ、うれしく思っています。教室をまわりながら、子どもたちが学習に取り組む様子を見ることがあります。友だちと話し合いながら考える姿、タブレットを活用して自分の考えを発表する姿、自分のノートに一生懸命まとめる姿など、それぞれの学び方で真剣に取り組む様子が見られます。その中で、私は時々子どもたちにこんな質問をします。

「今日の授業では、どんなことが分かるようになればいいのかな。」

すると、すぐに「〇〇について考えることです」と答えられる子もいれば、「楽しいけど、何がめあてだったかな」と少し考え込む子もいます。学習において大切なのは、「自分は今、何を学ぼうとしているのか」を意識することです。課題やめあてがはっきりすると、「できた」「分かった」という実感につながり、学ぶ意欲も高まります。本校で進めている「個別最適な学び」も、一人ひとりが自分の学びを理解し、自分で考えながら進めていくことを大切にしています。

もちろん、学習はいつも順調に進むとは限りません。分からなくて立ち止まることもあります。しかし、そのときに「分からない」と言えること、友だちや先生に質問できることは、とても大切な力です。「あきらめない」で挑戦し続けることが、自分の成長につながっていきます。

さて、6月は「いじめ撲滅強化月間」です。学校では、改めて「相手を大切にすること」について考える機会を設けています。

いじめは、特別な場面だけで起こるものではありません。何気ない言葉や態度が、相手を深く傷つけてしまうこともあります。だからこそ、日頃から「相手はどう感じるだろう」と想像することや、「ありがとう」「大丈夫？」といった温かな言葉を交わすことが、とても大切です。

本校では、4月に子どもたちへ「四つの『あ』」の話をしました。

「あいさつ」「ありがとう」「あんぜん」「あきらめない」

この四つは、安心して学べる学校づくりの土台でもあります。

特に、「ありがとう」という言葉には、人と人とのつながりを温かくする力があります。当たり前と思いがちなことにも感謝の気持ちを持ち、それを言葉で伝えられる子どもたちを育てていきたいと考えています。

また、学校では、いじめの未然防止や早期発見・早期対応に向けて、教職員が連携しながら取り組んでいます。子どもたちが安心して過ごせる環境をつくることは、学校の大切な役割です。気になることがありましたら、遠慮なく学校へご相談ください。

本校は今年、開校三十周年を迎えます。これまで地域や保護者の皆様に支えていただきながら築いてきた温かな学校文化を、これからも大切に、子どもたち一人ひとりの成長につなげてまいります。